

Makuhari's Memory

市町村アカデミーと貴重な仲間たち

自身2度目となる市町村アカデミーの派遣研修。今回私に与えられたミッションは、研修講師として必要なスキルと知識を身につけることでした。研修講師養成は、夜間のグループワークが多く大変なコースとの噂でしたが、レポートを事前に作成する間もなく派遣当日を迎えました。

さて、全国から総勢43名の精鋭が集い始まった研修。初日の懇親会で交流を深め、アフター5は班ごとのグループワークで相談しながら、お互いの技術を高めあいます。3日も経てば、他のメンバーのいいところを見習い、吸収し、自分のトークに自信がついてくるのがわかりました。これこそ市町村アカデミーの醍醐味ですね。

さあ、待ちに待ったフライデーナイト、2班合同で幕張の街に繰り出し、門限ギリギリまで語り合いました。(ベタですが) 方言の話、地方の食べ物の話、もちろん仕事の話……何を話したか覚えていないほどです(笑)。これも市町村アカデミーの醍醐味ですよ。

そんなこんなであっという間の11日間でしたが、私の

キャリアにとって非常に有用な研修になったと思います。他コースの受講生がラウンジで歓談しているのを尻目に毎晩課題に取り組むのは苦しかったですが、同じ苦しみを乗り越えた同志は強い絆で繋がっていると感じています。いろいろあったけれど、私たち同期は全員仲間です。それぞれの地での活躍を祈念し、同時に私の決意表明したいと思います。ありがとうございました。



河内 俊介

北海道苫小牧市
管財課
〈受講研修科目〉
地方公務員制度(研修講師養成)
第28期第1組(平成26年度)

「知識」と「絆」を深めたアカデミー

「およそ1年ぶりか……。」

それが、アカデミーに着いての第一声でした。

昨年度、「市町村税徴収事務」を受講し、業務に対する知識とともに、全国の仲間との絆も深められたことに味を占めた(?)私は、アカデミーの庁内公募枠に、かねてより関心のあった「まちづくり」に関する研修があることを知るやいなや、門外漢ながらも受講することを決め、晴れて幕張に再び降り立つこととなりました。

業務の延長で受講した昨年度と比較して、事前準備の段階から苦心したことも少なくありませんでしたが、いま振り返ると、すべてが良い思い出です。特に、不慣れな場で、不慣れな面々と絆を深めながら、1つの成果を残せたことは、今後の大きな糧になるものと思います。講義の中で、田中尚武先生がおっしゃっていた「個人の知恵が班の知恵に。班の知恵が全体の知恵に。」という言葉、まさに実感しております。

この度、お世話になりました講師・アカデミー職員・研修生の皆様、そして、快く送り

出してくれた職場の皆様には、この場を借りて感謝申し上げます。

最後に宣伝を1つ。来年2016年、本県において「希望郷いわて国体」及び「希望郷いわて大会」が開催されます！来年はもちろんですが、今年、そして再来年以降も、ぜひお越しただいて、「開催に向けて活気付く街」や「余韻に浸る街」を見比べて、お楽しみいただけたらと思います。全国のみなさまのお越しを心よりお待ちしております！

「岩手県さ、おでっくなんせ！」



金澤 健介

岩手県盛岡市
納税課
〈受講研修科目〉
魅力ある都市づくり
第28期第2組(平成26年度)

Makuhari's Memory

研修と結婚と私

結婚を2週間後に控えた私は、式の準備を全て放置して、羽田行きの飛行機に乗っていました。

4月から建築課計画保全係へ配属となり、「公共建築物ストックマネジメント」という最近流行の業務に従事し始めて1年が経とうとしていました。しかしながら、なかなか全体像が掴めない。そんな中、今回の研修を迎えることになった私ですが、研修終了後の率直な感想としては、全体像が掴めた充実感と爽快感でいっぱいでした。

毎日の講義では、ハイレベルで個性ある講師陣により、基礎から応用までわかりやすく丁寧かつ斬新な講義が続く、知識のレベルアップができただけでなく、学ぶ楽しさを思い出させてくれました。

また、課題演習では班のメンバーと議論しながら課題に取り組むとともに、メンバーの自治体それぞれの現状を聞いたことが大きな収穫でした。課題演習で議論をし、夕食をとり、ラウンジで酒を酌み交わしながらまた議論をする。年齢や役職が違うからこそ、抱えている悩みも異なり、また、さまざまな視点で意見が飛び交い、活発な議論をすることができたのかと思います。

無事研修を終え、鹿児島島に帰り着いた私を待っていたのは、一週間分の仕事と終わりの見えない結婚式の準備でした……。が！なんとか無事結婚することができました。

最後になりましたが、講師の方々、アカデミー職員の皆様及びともに学んだ皆様に深く感謝申し上げます。今後とも末永くお付き合いいただきますよう、よろしくお願いいたします。



森満 誠也

鹿児島県鹿児島市
建築課
〈受講研修科目〉
公共施設の有効活用（大量更新への対応）
第28期第2組（平成26年度）

『絆』～自立支援対策のプレゼン(課題演習)を通して感じたこと～



私たちG班は、受講生115名と新保美香先生の投票でプレゼン評価1位をいただきました。

初めて出会ったメンバーであり、最初は緊張しましたが、「言いあえる」討議ができました。それは、ニックネームをつけるなどその雰囲気づくりができたこと、班（組織）の目的をそのつど確認し、明確にできたことが要因だと感じました。その結果、班員のいろいろな個性が見事にマッチしてすばらしい相乗効果を得られたグループでした。

限られた時間の中で成果を出すには、その成果を先に見定めてそこに至るまでの効率的なプロセスを明確にする。そしてそのプロセスがいくつもの項目に分かれる場合、間違いや失敗を恐れず、各員が勇気を持って発言すること・意見を出すこと、機転を利かせることが大切だと感じました。

毎日、課題演習（討議）が終わった後にみんなでお酒を飲みながら話したことも、楽しく充実した研修につながりました。また、ストレングス視点で言うと、ある受講生の方々からの、討議内容に対する厳しい御意見も私たちのやる気にスイッチを入れてくれたと思います。

現場を離れ、4泊5日の合宿形式での研修という場を置いたことで、自身の業務を客観的に見つめ直すとともに、全国の自治体職員の方との情報交換の機会となりました。

最後に、この研修を最後まで受けることができたのは、

アカデミーの方、同僚、家族、代表幹事をはじめ受講生のみなさんのおかげです。ありがとうございました。まず自分自身を支えながら、人の幸せに貢献でき、市役所にいるからこそできる市民の命・生活を守る仕事に誇りが持てるようがんばっていきたく思います。これを読んでいただいた自治体職員の皆様に下記の言葉を紹介し、このような研修を受講されてみることをお勧めします。今後ともよろしくお願いいたします。

「私がある人と出会う。すると、その人と出会ったときから、昨日の私と今日の私とは何かが変わる」
「男が決断するとき（岩國哲人）」平成27年2月8日付佐賀新聞きょうの言葉より



坂本 賢一郎

佐賀県嬉野市
健康福祉課
〈受講研修科目〉
生活保護と自立支援対策
第28期第1組（平成26年度）